

第三十六回帝國議會
衆議院

河川法中改正法律案委員會會議錄(速記)第二回

會議

大正四年五月二十六日午前十時十九分開議

出席委員左ノ如シ

矢島 浦太郎君

室木 彌次郎君

相島 勸次郎君

齋藤 安雄君

須見 千次郎君

尾崎 元次郎君

出席政府委員左ノ如シ

內務省土木局長 小橋 一太君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

河川法中改正法律案

○委員長(矢島浦太郎君) 河川法中改正法律案ノ委員會ヲ開會致シマス、是ハ政府ノ御提出案デアリマスカラ、當局者ヨリ一應理由ヲ説明ヲ願ヒマス

○政府委員(小橋一太君) 本會ニ於テ大體ノ説明ヲ致シテアリマスガ、更ニ敷衍シテ此處申上テマス、此二十六條ノ改正ハ先ヅ以テ二十七條ノ關聯シテ御覽ヲ願ヒマス、ソレデ二十六條ハ國庫ガ府縣ニ對シテ、補助金ヲ交付シテ、河川ノ工事ヲ施行セシムルニテ、國庫ガ直接ニ河川ノ工事ヲ行フテ、ソレヲ府縣ニ分擔セシムル、國庫ト府縣ト分擔シテ直接施行スルコト云フ趣意デアリマス、即チ二十六條ヲ二十七條ニ準用スルト云フコトニナッテ居リマスカラ、二十六條ノ改正ノ結果ハ直チニ二十七條ニ及ンデ、其負擔關係ガ少ナクナルコト云フコトニナリマスカラ、二十六條、二十七條、併セテ御覽ヲ願ヒタイト思ヒマス、ソコデ四十二年三月ノ地租條例改正前ニ於テ此河川法ハ制定セラレタモノデアリマスガ故ニ、元ト一、此補助歩合、若ハ府縣ト國庫ト分擔歩合ヲ極メルニ付キマシテハ、舊ノ地租額ヲ標準トシテアル、舊ノ地租額ト云フヨリモ寧ロ舊ノ地租ノ稅率ヲ根據ニ取ツテ、國庫ト府縣ト分擔歩合ヲ定メテアルノデアリマス、即チ改正前ノ地租ノ稅率ハ地價百分ノ二箇半ト云フノガ稅率デアリマシテ、地價百分ノ二箇半ノ十分ノ一斯ウ云フ割合ニナッテ居リマス、然ルニ四十二年三月、地租條例ヲ改正セラレマシテ、宅地ニ於テハ二箇半デアリマスガ、其他ハ地價百分ノ四七——田畑ハ四、七其他ノ土地ニ付テハ五箇半ト斯ウ云フコトニナッテ、地租ガ増徴セラレマス結果ニナリマシタカラ、此文字ノ通りニ解釋シテ、單ニ増徴セラレタル地租ニ依ツテ負擔歩合ヲ極メマスルト、地方團體ノ負擔ガ増額セラレマシテ、最初河川法制定ノ趣旨ニ背反スル結果ニナリマスルガ故ニ、地價ノ百分ノ二箇半ト云フ所謂地租條例改正以前ノ根據ニ依ツテ、ソレト同様ノ趣旨ヲ以テ執行スルコトニ改正シタノデアリマス、尙附加ヘテ置キマスルガ、非常特別稅法施行ノ際ニ於キマシテモ、其時分擔部合ヲ算定致シマス場合ニモ、非常特別稅ノ部分ニ屬スルダケハ除外シテ、ヤハリ地價百分ノ二箇半ト云フ舊地租ノ稅率ヲ標準トシテ、河川ノ工事費ノ分擔ヲ極メタ譯デアリマスカラ、ヤハリ其精神ヲ襲踏シテ明カニシテ置キタイト云フコトニ基イテ、此改正案ヲ提出セラレタ次第デアリマス、尙細目ニ至ッテ、御質問ガアリマスレバ御答致シマスガ、大體其趣意デアリマス

○齋藤安雄君 大體此案ハ必要ナ案ト考ヘマスガ、之ニ付キマシテチヨット伺フテ見タイノハ、四十三年ニ今御話ノ地租ノ稅率ヲ收メマシテ以來、今日マデ大分年度ガ經過シテ居リマスガ、其間ニ此現行ノ地租率ニ依ツテ分擔歩合ヲ定メタ實例等ガアリマシタカ
○政府委員(小橋一太君) 四十三年ノ暮ニ北上川、荒川ノ工事分擔ヲ極メタコトガアリマスカラ、即チ四十三年三月地租條例改正ノ後一度アリマス、其時ニ於テ最早議會モ切迫モシテ居ルシ、此適用上ニ付テ、實ハ問題ガ起リマシタ、ソレデ其時ハヤハリ此河川法第二十六條ニ言フコロノ地租ト云フノハ、即チ河川法制定當時ニ於ケル精神ニ基イテ地價ノ百分ノ二箇半ト云フコトガ、ヤハリ其精神デアルト云フノデ、是ハ文字ヲ明カニ改正スレバ正シイノデアルケレドモ、此場合ニ臨ンデハ、其精神ヲ酌シテ、舊來通りノ分擔額ヲ極メ、ソレデ地價百分ノ二箇半デアッテシマッタノデアリマス、併ナガラ文字ハ斯ウ書イデアルシ、是ハ明カニシテ置カヌト、將來ニ於テ疑義ガ生ズルト云フコトデ、實ハ昨年モ是ハ改正案ヲ出ス積リデ、準備シテ居リマシタガ、間ニ合ヒマセヌデシタ、併シ其後ハ適用ハゴザイマセヌ

○齋藤安雄君 サウシマス現行ノ地租率ニ改マッタ以來ノ實例ハ、今ノ荒川ト北上川ト二川ダケデスカ、其當時ノ算定方法ハ法律ノ條文ヲ極ク嚴格ニ解釋スル場合ニハ、聊カ此法律ニ抵觸スルト云フヤウナ嫌ガアッタノデアリマスカ

○政府委員(小橋一太君) ソレハ其當時關係各省等ニ於テモ議論ガアリマシタガ、其精神ノ解釋ニ基イテ實行シヤウト云フコトニナッテ居リマシタ、ソレカラ前ニモチヨット御斷リシマシタヤウニ、非常特別稅法施行ノ際ニ於テモ、其非常特別稅ニ依ツテ増徴セラレツツアル間ハ、其精神解釋ニ依ツテ非常特別稅法ニ依ツテ増徴セラレタ分ダケハ除外シテ、地價百分ノ二箇半デ計算シテ先例ガアリマシタカラ、其通り行ッタノデアリマス、モウ一ツ御斷リシテ置カナケレバナラヌノハ、四十三年以後北上川荒川ダケヲ申シマシタガ、昨年阿賀野川ノ改修ヲ決定致シマス時ニ當ツテ、地租ノ分擔金ヲ極メルニ付テハ、ヤハリ百分ノ二箇半デ割出シテアリマス、是ハ併シ大正四年度以後ノ收入ヲ見込ンデアリマスカラ、是ガ決算ニナッテヤハリ其趣旨ニ基イテヤッデアリマスガ、ソレハマデ執行スル場合ニハ至ラヌガ、其趣意ニ於テ出シテアリマス

○齋藤安雄君 唯今ノ御説明ハ能ク分リマシタガ、ソレデ尙別ナ方面ニ付テチヨット伺フテ見タイノデスガ、ソレハ此河川法ノ制定以來、今ノ河川改良ニ關スル費用ヲ關係ノ府縣ニ負擔サセル標準ト云フモノハ、河川法ノ實施以來今日ニ至ルマデ、ヤハリ單ニ地租ト云フモノノミヲ單ニ一標準トシテヤッテ居ルノデアリマスガ、然ルニ之ヲ實際ニ適用シタ上ニ顧ミテ、尙其地租以外ニ此標準ヲ加ヘルコトガ、實際ノ上ニ一層適切ナ結果ヲ生ズルコトガアリハシナイカ、其點ニ多少私ハ疑フ有ッテ居ルノデアリマスガ、此點ニ關シテ此改正法案ヲ御出シニナルニ付キマシテハ、政府ニ於テハ多少其點ニ付テ御考慮ガアツタカドウカ、併セテソレニ對スルノ改正案ヲ御出シニナラヌトコロヲ見マスルト、現行ノ地租ノミデ宜イト云フ先ヅ結論ヲ得タモノトハ推測出來マスケレドモ、明治二十六年アタ

リ河川法制定當時ノ事柄ハ、總テノ事ガ極メテ大難駁ニ出來テ居リマスカラ、地租ヲ單純ニ標準トシテアルト云フコトモ、其當時ニアッテハ適當ナコトデアッタカト思ヒマスガ、其以後段々世ノ中ガ進歩スルニ從ッテ、總テノ標準ヲ定ムルニモ次第ニ緻密ニ趣イテ來マシタガ、ソレ等ノ意味カラシテ尙他ニ標準ヲ更ニ増加スルヤウナ必要ガアリハシナイカト、私ハ窃ニ考ヘテ居ル譯デアリマス、其邊ニ關スル政府ノ御考ハドウデアリマシタカ

○政府委員(小橋一太君) 實ハ此負擔ノコトニ付キマシテ、地租ノミニ據ルカ其他ノ標準ヲ加ヘルカト云フコトニ付テハ、別ニ深ク研究ヲ盡シテ譯デアゴザイマセヌガ、他ノ標準ヲ加ヘルニ付キマシテハ、例ヘバ此工事ノ利害關係ガ、河川ノ川沿バカリデナク、其以外ニ關係ガアルトカ、或ハ水源地上流ノ方ニハ關係ガナクシテ、下流ノ方ニ關係ガアルト云フヤウナコトモアリマスカラ、其負擔歩合ヲ極メニ付テハ、相當ソレ等ノ點ノ考慮ヲ要スルト云フ意見モアリマスガ、ソレニ付テハ強テ法律ニ依ラナクモ各縣ニ負擔ヲ命ズル場合ニ大體ノ分擔額ガ定マル、例ヘバ一河川ニ付テ總工費ノ三分ノ一ハ國庫ノ負擔トシ、其他ハ地方テ持ツト云フ分擔額ヲ定ムル時、關係府縣ノ負擔割合ヲ定メル時ニ、ソレ等ノコトモ考慮シテ、各縣ノ分擔ヲ定メルコトガ出來ルカラ、法律ニ書ク必要ハ無イ、斯ウ云フノ事ニナツタデアリマス、或ハ營業稅等ノコトモアルカモ知レマセヌガ、ソレニ付テハ未ダ深ク考慮ヲ費シマセヌカラ、何トモ申上ゲラレマセヌガ、實ハ災害復舊費ノ如キモ、全然地租ニ依ッテ居リマスカラ、先ヅ地租ニ依ッテ分擔法ヲ定メル方が穩當ダラウト云フコトデ、從來ノ通りヤツタデアリマス

○齋藤安雄君 尙ホ今ノ御説明ノ趣旨ヲチヨット了解シ兼ネマシタガ、今ノ御説明ノ趣旨ハ法律ヲ定メナイデ、今日ノ通りアツテモ、即チ三分ノ二以內トカ四分ノ三以內トカ云フコトニナツテ居ルカラ、其範圍內デ府縣ノ負擔額ヲ定ムル場合ニ、相當ノ斟酌ヲ加ヘテ負擔額ヲ定ムルコトニシタラ、ソレデ宜イデアハナイカト云フコトデスカ

○政府委員(小橋一太君) 今御話シタノハ少シ御尋ノ趣意ヲ了解シ兼ネテ居リマシタガ、斯ウ云フ意味ニ於テ申上ゲタノデス、其河川ニ付テ深イ關係アルモノハ一縣バカリデハナイ、一縣モ二縣モ關係ガアルノデス、其場合ニ其各縣ノ分擔額ヲ定メルニハ、縣ノ利害關係ノ大小ヲ斟酌シテ、サウシテ定メルモノデアアル、斯ウ云フコトヲ申上ゲタノデアリマス

○齋藤安雄君 ソレハ分ツテ居リマスガ、其實際行フ場合ニ於テ、縣ノ負擔額ヲ定ムルニハ地租ノ十分ノ一ニ付テハ幾ラ、或ハ何歩ノモノヲアルト云フコトハ規定ニ據ラナケレバナラヌト思ヒマス、ソレヲ適用スル場合ニ三分ノ一トカ四分ノ二ト云フ各地方ノ負擔ト云フモノ、割合ヲ定ムルニハ、其縣ノ利害ノ大小輕重ヲ斟酌シテ、其度合ヲ斟酌シテヤルト云フ御話デスカ

○政府委員(小橋一太君) チヨット申上ゲヤウガ足ラナカッタト思ヒマスガ、實際ノ實例カラ申シマス、例ヘバ信濃川ナラ信濃川ノ其總工費ガ定マリマス、ソレデ其總工費カラシテ二十六條ニ基イテ縣ノ分擔額ヲ定メマス、其定メルトキハ此超過額以內ト云フコトニナツテ居リマスガ、實例ハ極點マデ補助シテ居リマス、ソレ故ニ今ノヤウニ實例ハ今日マデナカッタデアリマス、私ノ申上ゲヤウガ岐路ニ互ッタヤウデアリマスガ、利根川ノ如キモ埼玉、千葉、茨城ト各縣ニ關係ナルトキニ、其工費ノ中、埼玉ハ幾ラ持ツ、ドコノ

縣ハ幾ラ持ツト云フコトガ極ツタラバ、其縣ガ持ツ部分ニ對シテ埼玉ガ幾ラ千葉ガ幾ラ持ツト云フコトニ付テハ、其縣ノ利害關係ノ大小ヲ斟酌シテ極メル、斯ウ云フコトヲ加ヘテ申上ゲタノデス、ソレカラモウ一ツ御尋ノ第二十六條ノ標準、即チ地租ノミニデハ如何デアラウ、其御尋ノ御趣意ハ分リマセヌガ、或ハ營業稅ト云フヤウナモノモ標準ノ中ニ今度入レタラドウカト云フ御尋ノヤウニ思ヒマシタノデ、其御尋ニ對シテハ是ハサウ深キ考慮ハ未ダ盡サナカッタノデスカ、災害復舊費ナドモ地租ニ依ッテ居リマスカラ、ヤハリ地租ノ方ガ宜シカラウト云フコトヲ申上ゲタノデアリマス

○齋藤安雄君 サウスルト今ノ御説明ハ、例ヘバ利根川ノ改修費ニ對シテ國庫ノ負擔ハ幾ラ、地方ノ負擔ハ幾ラト定マル割合ハ、四分ノ三ト云ウテモ極度マデ國庫ガ負擔スルコトニシテ居ル、其極ツタモノヲ各府縣ニ割當アル時ニ、初メテ各種ノ事情ヲ斟酌シテ割合ヲ極メルト云フ御話デスカ

○政府委員(小橋一太君) 左様デス

○齋藤安雄君 サウスルト今ノ各府縣ノ負擔額ヲ定ムルニ付テ、他ノモノヲ標準ニ取ラズシテ、單ニ地租ノミニ依ッテ定メタ其從來ノ實例ニ於テ、其河川改良工事ノ利害關係ヲ持テ居ル其分量ニ比較スルト、今御説明ノ趣意ニ依ッテ、負擔額ヲ定メタ其額ガ輕キニ失スルトカ、或ハ甚ダシク重キニ失スルト云フヤウナ、所謂概括的ニ、所謂達觀的ニ、府縣ノ利害ニ比較シテ如何ニモ法律ノ結果ダカラ已ムヲ得ヌケレドモ、實際ノ利害ノ上カラ達觀的ニ言ヘバ甚ダシイ苛酷ニ過グルト云フヤウナ、不公平ノアッタ實例ハアリマセヌカ

○政府委員(小橋一太君) 四十四年以來根本的ニ計畫ガ立ッタノデアリマスガ、左様ナ達觀的ニ感ジタコトハナイノデアリマス

○委員長(矢島浦太郎君) 尙他ニ御尋ガアリマスカ

○室木彌次郎君 地租ヲ標準トスルノハ一月現在地租トアリマスガ、地租額十分ノ一ト云フノハ、イッソノ地租額ニ依ッテ計算シテ居ルノデアリマスカ

○政府委員(小橋一太君) アレハ其年度ニ屬スルモノ、其年度々々ニ依ッテ其徵收額ニ依ッテヤツテ居リマス

○委員長(矢島浦太郎君) 最早質問ハ終了シタヤウニ考ヘマス、ソレデハ本案ノ當否ニ付テ御意見ヲ伺ヒマス——別段御意見モゴザイマセヌカラ、本案ノ可否ヲ御述ベテ願ヒタイ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(矢島浦太郎君) ソレデハ全會一致ヲ以テ、贊成ヲ致スコトニ可決致シマス

午前十時四十一分散會